

いきいき **マイ・グループ** ⑧

“双子の育児がんばってます”  
ふたごっち ぷち

「自分の子どもが双子だったら」と、想像したことはありますか。かわいい子どもが一気に2人。その喜びはとても大きいものです。しかし、妊娠・出産・育児と、特にお母さんにかかる負担はどうでしょう。1人の育児でも大変なのに、双子だったら……。

そんな双子の親の心強い味方が、多胎児サークル「ふたごっち ぷち」です。可児市近隣の0歳～就園前の子と親のサークルで、現在9組の親子が活動しています。

「何をしても2倍かかってしまう」、「買い物などの移動が大変だから、家に閉じこもりぎみになってしまう」など、双子独特の悩みでも同じ境遇だからこそ分かりあえ、みんなで話すことで不安を解消していきます。また、普段はなかなか行けない親子でのランチ会、クリスマス会などのイベントも行っています。

「こうしたサロンの場を設けることによって、お母さんたちにゆっくりとした時間を過ごしてほしい」と話す会長の山田さんと鈴木さん。随時、会員を募集しています。



楽しく活動する会員の皆さん

問合せ先 会長の山田香織さん ☎ 5699



▲多くの見物客でにぎわう「上げ馬神事」 (桑名市提供)



▲八重豆 (桑名市提供)



私のふるさと桑名市多度町で何と言っても有名なのが、5月4日、5日に行われる多度祭の中心行事である「上げ馬神事」です。毎年この日は、全国から数万人の見物客が訪れ、地元もお正月のように盛り上がります。

●記 渡邊富美子さん (大森)  
上げ馬神事とは、選ばれた少年6人が、武者姿で急な坂の上にある2メートル余りの絶壁を、人馬一体となって駆け上がる神事です。6人の騎手たちは、青年会  
の幹部の皆さんに支えられながら、早朝と夕方に乗馬練習をし、暮らして使う火を家族と別にする生活に入ります。私の弟や甥も騎手を経験しましたが、祭りに向けて若い男の人たちが一丸となつていく姿は本当にすばらしく思います。  
多度町には、ほかにも特産品として、甘酸っぱい味が特徴の多度みかん、伝統的なお菓子である八重豆(多度豆)や紅梅焼などがあります。  
可児からは1時間ほどで行けますので、迫力ある「上げ馬神事」を一度見てみてください。

迫力ある「上げ馬神事」が行われるまち



—市内に生息する貴重な動植物— その15

ヒメコウホネ(スイレン科)

葉を水面に浮かせる水生の多年草。葉は広い卵形で、長さ約8cm、幅約6cm。花は黄色で径は約4cm。6月～10月ごろ水面から突き出て開花します。丘陵山間部の池や沼、農業用水池などに生育しますが、池や沼の埋め立てなど生育地の改変により、全国の個体数は危機的水準まで減少しています。



○環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類  
○県レッドデータブック：絶滅危惧Ⅰ類  
※生息地については非公表



問合せ先 環境課

学校からこんにちは 10 Educe 9

今渡北小学校

今渡北小学校は、今渡小学校から分離開校し、今年度で28年目となる歴史の新しい学校です。学校の教育目標「豊かな心をもちたくましく生きる子の育成」を目指しています。3年前から子どもたちの感性がより豊かに育つように、「話すこと・聞くこと」の指導に力を入れています。

2年生では、迷子を探すためのアナウンスの練習をしました。「はきはきゆっくり、大切なことを落とさない」が目標です。名人のアナウンスを手本に何度も練習。アナウンス名人がたくさん生まれました。

4年生は、季節ごとに詩を書くことに決め、年間を通して学んでいます。右の詩は「5月にはどんな声が聞こえるかなあ」と考えて作ったものです。子どもたちの感性に先生も感激し、感性を揺すぶられています。

「すてきだね。やってみよう」、「ああ、こうやって話せば(書けば)いいの!」、「わあ、できた!」、「うわあ、すてき。私も!」その繰り返して、全校朝会や式の時の子どもたちの話も素晴らしくなりました。

さあ、今年も、子どもたちのどんな話や作品に出会えるのか、とても楽しみです。



2年生児童のアナウンス練習風景

創立：昭和58年  
児童数：802人  
所在地：今渡1680  
電話：63-1500

春の歌  
母の日  
いろいろな家から  
ありがとうが  
たくさん  
きこえてくる

▲4年生児童が作った詩

みなさんの 善意

次の皆さんから寄付がありました。ありがとうございました。(敬称略)

社会福祉に…

- 春里若葉クラブ
- 音の道音楽事務所
- 岐阜日産自動車株式会社
- 長坂みどり会 奥村きみ糸
- 勸岐卓身体障害者福祉協会
- ぎふしん愛の募金会
- 東明小学校
- 中恵土サロン

青少年の健全育成に…

- 国際ソロプチミスト可児